



# 関中央ロータリークラブ

2019-2020 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2  
事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278  
会長 吉田和也 副会長 高井良祐 幹事 土屋敏幸 クラブ会報委員長 長谷川修

2019~2020年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「One for all, All for one.

協力しあい成長するロータリー！」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2004回例会 2020年2月13日(木)

会員卓話 北原 慎会員 テーマ「自己紹介」 担当 ニコボックス委員会

前例会の記録 第2003回 2020年2月6日(木)

卓話 関市副市長 山下 清司様

テーマ 「関市副市長に就任して」

担当 青少年育成委員会

\*国歌「君が代」斉唱

\*ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

\*4つのテスト唱和

R情報委員会 広瀬恒行副委員長

\*お客様の紹介 関市副市長 山下 清司様

\*会長あいさつ 吉田 和也会長

山下様におかれましては、お忙しい所、お越しいただき誠に有難うございます。後ほど「関市副市長に就任して」というテーマで卓話を頂戴いたします。いろいろな業務やご苦勞のことなど興味深いお話がいただけると思いますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年末、中国の武漢市より発生した、新型コロナウイルスが猛威を振るっております。政府



も水際での感染防止に力を注いでまいりましたが、残念なことに国内でも、中国、武漢に渡航歴のない人にも、感染が広がってしまっているようです。関市における対策も今日は山下副市長がお見えですので、後ほどお話をいただけるかは分かりませんがよろしく願いいたします。

この件に関しましては、緊急事態として、いろいろとメディアでも取り上げられており、皆様も十分に、ご承知かと思いますが、2月5日の時点で、中国では24,324名の感染者数となっており、死亡者も490名ほど出てしまっているようです。国内におきましても、感染が確認されている患者は19名みえて、その他4例の無症状病原体保有者が確認されているとのことです。又、今日の新聞では、横浜港沖に停泊している大型クルーズ船の船内においても10名の感染が確認されたようで、この新型コロナウイルスは拡大が止まりません。国内におきましては、今年オリンピックが開催されますので、これ以上世界に感染が拡大するようなことがあれば、開催も危ぶまれそうで、

大変心配でございます。又、産業の方面でも、中国国内で部品を製造し供給を受けている業界は、サプライチェーンにより部品の供給が止まってしまい、生産の停止に追い込まれる状況が避けられそうにございません。この影響はこの先、どこまで波紋を広げてしまうのか、大変懸念するところでございます。そもそも、この病気の感染源は、コウモリが発生源となった可能性が高いとか、はたまた、中国武漢の細菌研究所から生物系の細菌兵器を撒き散らかしているといった、とんでもない噂まで、さまざまかと思いますが、「WHO の栄養と食の安全部門のベン・エンバレク博士」の話によりますと、重症急性呼吸器症候群サーズや中東呼吸器症候群マーズも、コウモリが発生源だったと考えられているそうです。ですがどちらも、人間が感染する前にそれぞれ、ジャコウネコ(ハクビシン)やラクダの間に広まったと考えられているそうです。それが、人間へと感染していった経緯は、私たち人間が、以前は近づかなかった野生動物とその生息場所に接近するようになった為、突然過去に一度も接触したことのない新たなウイルスにさらされこのような新しい病気にかかるようになってしまったと考えられてみえるようです。

私は、そのような難しい話は分かりませんが、もしも自然破壊によることが原因であり、それを食い止めれば今後、このような新しい厄介な病気の発生を防げるのであれば、小さな一歩かもしれませんが、我がクラブの基本方針の柱の一つの環境保全活動をたくさんの子供たちに理解してもらおう事により、将来の子孫に良い地球環境を残していけるような事業、教育をクラブでできれば良いなと思います。一刻も早くこの新型肺炎が終息するのを願ひまして本日の会長挨拶とさせていただきます。

#### \* 卓 話

関市副市長 山下 清司様  
テーマ

「関市副市長に就任して」

これまでの印象的な仕事

#### ◆地域委員会の立ち上げ(地域振興計画)

【地域委員会】

- ・それぞれの地域の特性をいかして住民主体の地域

づくりを行う組織

- ・地域課題の解決に向けた地域委員会の活動に対して交付金や職員を派遣

☆板取地域、上之保地域での立ち上げに注力



現在は、

- ・市内 14 地域で活動中 (※1 地域が準備会)
- ・活動例→独自のホームページ運営、広報紙発行  
集会場管理、公園管理など

#### ◆ビジネスプラス展 i n S E K I

- ・企業の優れた技術力や高品質な製品づくりなどを発表する場を提供
- ・業務の提携、取引の活性化、雇用確保の推進を支援
- ・技術力のさらなる向上と製品の販路拡大を支援

#### ◆関の工場参観日

- ・事業所の工場を開放し、工場見学やワークショップを通して、企業の高い技術力やものづくりの現場を体感



- ・企業従業員が働く喜びや誇りを改めて実感
- ・企業や関市に対する市民の愛着や誇りを醸成

#### ◆関市公共施設再配置計画

- ・毎年 35 億円以上の更新費用が必要との試算
- ・合併により類似施設を所有、地形的特徴
- ・人口減少、少子高齢化の進行
- ・財源縮小、社会保障費の増大



- ・平成 28 年 3 月計画策定
- ・計画期間 2016 年度～2063 年度 (約 50 年間)
- ・基本計画

- ①公共施設の果たす役割の明確化
- ②公共施設総量の削減
- ③地域特性を踏まえた施設整備
- ④適切な維持管理・マネジメントの実施
- ⑤市民との協働
- ⑥財源確保・コストの圧縮

#### ◆都市計画税(武芸川地域)の見直し

【都市計画税】

- ・道路、公園、下水道設備などの都市計画事業また



は土地地区画整理事業に要する費用に充てるための  
目的税

「関市都市計画税条例」

- ・附則第12項 武芸川町の編入に伴う都市計画税の特例・・・、当分の間、都市計画税を課さない。



- ・行財政改革の取組項目に位置付け
- ・住民説明会、事業所説明会の開催



「都市計画地域である武芸川地域にも都市計画税を課税」（平成30年4月1日～施行）

#### ◆刃物と鵜飼のまち・せき どぶろく特区

第46回構造改革特別区域計画 認定！

（平成30年12月20日）

- ・関市で育種された特産米の「みのにしき」を原料とした「どぶろく」を製造



- ・魅力的で個性的な食文化で新たな観光資源創出



- ・「刃物と鵜飼のまちづくり」と連携して昼夜一貫の滞在型観光のまちづくり
- ・都市住民との交流増加による地域産物の消費拡大、地域の活性化

関市の現状	2020年	⇒	2040年
総人口	86,721人		73,075人
0～14歳	10,830人		7,900人
15～64歳	49,747人		38,624人
65歳～	26,144人		26,551人

#### ■日本の高齢化率=28.4%

(R1.9.15現在、総務省統計局)

⇒全国平均を上回るスピードで関市の高齢化(29.5%)が進んでいる

- 超高齢社会=高齢化率(65歳以上の高齢者が占める割合)が21%を超えた社会(WHOによる定義)  
⇒関市全体は平成21年からすでに超高齢社会  
令和元年12月時点では、すべての地域が超高齢社会。2045年には関市の高齢化率が40%を超える!!

#### 関市第5次総合計画(2018～2027)

##### ◆将来都市像

「産業」を鍛え、「学び」を伸ばし、「文化」を磨き、  
未来を切り拓く「協働」のまち

#### ◆SEKI ISM(関イズム・関住む)プロジェクト

- ・関市が持つ個性(らしさ)や資源を十分活用し、人、企業、団体など多様な主体に選ばれ、住んでもらうための取り組みを重点的かつ積極的に展開
- #### 令和2年度のトピック

#### ①市民参加の“市制70周年・合併15周年記念事業”

##### ◆記念ロゴマーク決定！

- ・記念ロゴマークやキャッチフレーズで機運醸成
- ・市民提案のイベント

##### ◆“70”の記念事業を企画・開催

- ・戦国甲子園、記念コンサートなど
- ・関市にゆかりのある文化人を招いてイベントなど
- ・子供から高齢者まで広く参加可能、市内全域で

#### ②「刃物ミュージアム回廊」拠点施設整備

整備コンセプト

「刃物のまち・自然と文化の散策回廊」

#### ③2020東京オリ・パラ コートジボワールの

ホストタウン

##### ◆陸上競技の練習会場として

- ・岐阜市と共同でホストタウンに
- ・中池陸上競技場で事前練習
- ・コートジボワールの文化に触れる機会

##### ◆オリンピック選手村に地元産材

- ・選手村のビレッジプラザの建設に関市産の木材を供給
- ・使用した木材はレガシーとして再活用

#### ④ねんりんピック岐阜2020

(第33回全国健康福祉祭ぎふ大会)

##### ◆テーマ 清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪

##### ◆会期 2020年10月31日～11月3日

- ・60歳以上の方々を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典
- ・昭和63年に兵庫県で第1回大会開催以来、毎年開催
- ・スポーツ・文化交流大会には全国から約1万人の選手・役員が参加

#### 【大会目標】

- ①東京オリンピック・パラリンピックを契機とした

「スポーツ・文化の振興」につなげる大会

②「健康長寿」の素晴らしさを確かめ合う大会

③「地域共生社会」実現の契機となる大会

・県内 42 市町村で総計 63 種目が開催

●ねんりんピック岐阜2020大会関市実行委員会設立

総会・第1回実行委員会（R1.5.17）

## 副市長としての3つの信念

### I 現場（地域・市役所内各職場）の声を聴く

- ・市民のみなさまのニーズをつかむ努力をします
- ・職員との意思疎通を十分に図り、各種事業の進捗管理を図ります

### II 変化を恐れない

- ・持続可能な関市にするため、必要な事業を創るとともに既存事業を見直します
- ・変化を恐れず、挑戦していきたい

### III スピードとタイミングを大切に

- ・急いではべきことと、慎重にすべきことを仕分けて取り組みます
- ・時を逃さず、事業などに着手することを配慮します

## \*出席委員会

会員数 34 名、本日の出席 21 名です。

## \*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

副市長 山下清司様、今日の卓話、宜しくお願ひ致します。楽しみにしております。

・山本 義樹君

関市副市長 山下清司様には、本日大変ご無理を申しました。卓話を楽しみにさせて戴きます。

21 名のご投函ありがとうございました。

## \*幹事報告

- ・例会終了後、理事・役員会を行います。
- ・レターボックスの書類をお持ち帰りください。

## <次例会の案内>

第 2005 回 2020 年 2 月 27 日（木）

会員卓話 尾崎 将之会員

テーマ 「AEDと市民による応急手当」

担当 雑誌・広報委員会